

# 公益社団法人 東京都臨床検査技師会令和3年度第8回理事会議事録

日時：令和3年12月15日（水）19時00分～21時10分

場所：都臨技事務所 オンラインWeb会議システム（Zoomミーティング）

議長：原田

議事録作成：竹澤

出席：

（都臨技事務所にて参加）3名

飛知和、高橋監事、峯岸（役員候補選出委員）

以下の出席者は、Web会議システム「Zoomミーティング」により参加した。

（自宅より参加）12名

原田、杉岡、小山、中村、米山、三橋、宮崎、星野、末永、岩瀬、竹澤、立花監事

（職場から参加）9名

浄土：勤務先 東京都千代田区神田駿河台1-6 日本大学病院 臨床検査部

櫻井：勤務先 東京都小平市花小金井8丁目1-1 公立昭和病院 臨床検査科

松村：勤務先 東京都板橋区加賀2-11-1 帝京大学 医療技術学部

相馬：勤務先 東京都板橋区大谷口上町30-1 日本大学医学部附属板橋病院

加藤：勤務先 東京都多摩市永山1-7-1 日本医科大学病院多摩永山病院 中央検査室

平木：勤務先 東京都新宿区河田町8-1 東京女子医科大学病院 中央検査部

浅野：勤務先 東京都荒川区西尾久2丁目1-10 東京女子医科大学東医療センター 検査科

府川：勤務先 東京都港区虎ノ門2丁目2番2号 国家公務員共済組合連合会虎の門病院 中央検査部

遠藤監事：勤務先 東京都千代田区神田神保町1-48 税理士法人 MY ユニット

計24名

欠席：山方

議事の経過の要領およびその結果

定刻、東京都臨床検査技師会会長 原田典明は議長席につき、Web会議システムにより、出席者の音声即時に他の出席者に伝わり、出席者が一堂に会するのと同様に適時的確な意見表明が互いにできる状態となっていることを確認の後、理事会の開会を宣し、以下の議事に入った。

## 1. 議事録

- ・令和3年第7回理事会議事録が承認された。
- ・令和3年第9回執行理事会議事録が承認された。

## 2. 報告事項

### 1) 学術部

#### (1) 学術部会

- ・11月29日におこなわれた第7回学術部会について議事録の確認がなされた。
- ・各研究班の研修会は予定通り実施されている。
- ・2022年度初級研修会のテキスト作成については、例年通り作成し配布することとなった。
- ・ホームページの研究班ページに幹事名簿を載せている研究班が一般と血液のみであり、統一した方がよいと意見が出された。レイアウトも合わせるのであれば理事会で指針を示して欲しいとのことであったが、学術部会で統一した書式を決定し修正することとした。内容に関してのデザイン等は各研究班に一任する。
- ・講師料に関して、専門学会ではもっと講師料が高い、会場費がかからないのであればもっと高くすれば良い講師が呼べるとの意見があった。今後は他の事業に経費が掛かる予定もあり、また公益社団法人の団体でもあることから、ご理解いただける方に講師を引き受けて頂くこととし、講師料の引き上げは行わない。
- ・イベントペイのシステム利用料が受益者負担講習会の場合、1人220円掛かる。都臨技の予算から負担するのではなく参加費と利用料を徴収してほしい。
- ・領収書について、イベントペイからは参加費とシステム利用料合計の額でしか発行できない。参加費だけの領収書が必要な場合は従来通りの方法で発行することとする。
- ・会誌を電子化にするにあたり、1月中旬までに委託会社が決まらないと準備が間に合わないので早めに進めてほしい。
- ・研究班の名称は「検査研究班」が正式であれば、統一した方がよいとの意見が出されたが、正式名称は「検査研究班」であり統

- 一する。ホームページの表記も文字数制限を確認し可能であれば修正する。
- (2) 標準化委員会
  - ・委員会の名称を「標準化委員会」から「精度管理調査委員会」変更する方向で検討する。
- (3) 生涯教育制度実行委員会
  - ・報告書の確認がなされた。
- (4) 編集委員会
  - ・11月25日に委員会が開催された。
  - ・来年度の表紙、進行表などについて進めている。
  - ・電子化に伴う委託会社3社の見積もりやサービス内容等を精査しているが、次回理事会前に3社にプレゼンテーションを実施してもらい決定する。
- 2) 学会運営部
  - (1) 第16回東京都医学検査学会
    - ・参加登録が37件、決済8件あった。
    - ・招待演題は決定し、抄録や講師の略歴を収集している。
    - ・一般演題は12月15日17時締切りであったが、登録完了が39件、投稿中が11件あり投稿中の方がいたのでシステムの終了時間を延長した。
  - (2) 第17回東京都医学検査学会
    - ・「人工知能(AI)と遺伝学的検査の高度化で変わる臨床検査 ～近未来の東京で働く臨床検査技師のゆくえ～」として準備を進めている。近未来的な内容であるが、過去を偲んで未来に向かって突き進もうという想いで、学会の最後は古典落語で締めくくる。
    - ・年明けに委員会を開催し内容を詰めていく。
- 3) 支部運営
  - (1) 支部報告
    - ・報告事項なし
  - (2) 選挙管理委員会
    - ・12月15日に代議員立候補届け出期間が締め切りとなっていたが、西支部で定員に満たないため引き続き候補者を募る。
    - ・代議員選挙の開票作業は従来事務所で行っていたが、今後のCOVID-19流行状況によっては広い会議室を探して開票作業を行うことも検討していく。
    - ・投票用紙にマークシートを使用するなどシステムを利用することを検討しても良いのではと提案があった。代議員選挙規定を確認し変更可能であれば次年度以降検討していく。
    - ・公益社団法人としての代議員選挙の投票権は理事、監事含めてすべての会員にあることが確認された。理事会で代議員の指名は出来ないが、投票は可能。
- 4) 地域保健共催事業部
  - (1) 地域保健共催部
    - ・1月に会議を開催する。今後はコロナ禍以前の形式に戻せるのかどうか状況を見つつ判断していく。
    - ・教育施設連絡者会議を1月に開催する。第16回東京都医学検査学会内で行う学生対象講演会の広報を行い学生に有益な情報を提供していく。
  - (2) STI 予防委員会
    - ・臨床検査の普及啓発活動の取り組みとして、保護者への臨床検査技師の紹介チラシを作成している。
    - ・看護フェスタがWeb上にて12月1日から開催されている。都臨技からは作成した動画コンテンツを3本掲載し参加している。
  - (3) フォーラム委員会
    - ・11月18日にフォーラム委員会を開催し、2本の企画が決定した。
    - ・企画1の「コロナウイルス感染症の重症化リスクと肥満症」は講師から動画を提出してもらい確認が完了している。
    - ・企画2の「コロナウイルスと重症化する生活習慣病」は動画が届いたので委員会で確認する。
    - ・配信は12月から3ヵ月間程度とする。1本15分の動画で、配信方法を検討中。
    - ・視聴済み会員への点数付与については理事が手作業で追加する予定。
    - ・著作権についての注意点はホームページ上、またはスライドに注意書きを提示する。
    - ・来年度も会場開催はせずWeb配信とする。
    - ・フォーラムは東京都民に向けた「都民公開講座」であるため、都民への広報、周知に関しては検討が必要。東京都の後援を得て東京都の広報などの利用が可能かも調査する。
  - (4) 学生対象講演会
    - ・講師4名に依頼し、3名分のコンテンツは揃っている。すべて揃い次第、学会コンテンツとしてアップしていく。
- 5) 会計部
  - ・2021年11月収支会計報告がなされた。

- ・令和4年度の予算計画を1月執行理事会までに立てるよう依頼された。
- ・令和3年度3/4半期の理事行動費請求書の提出要請がなされた。

## 6) 庶務部

### (1) 庶務部報告

- ・11月の理事会で口頭にて説明があった中間監査の報告書が監事から届けられ、報告書を基に改めて報告がなされた。
- ・12月1日時点で会員数が7千名を超えた。
- ・規程類の見直しが進んでいないので、各部署の関連の規程を分担して1月理事会までに内容の確認をし、修正が必要な規程類は3月を目途に完了させる。
- ・ホームページの見直しを行っているが、修正が必要な箇所があれば12月25日までに申し出る。
- ・事業計画案は1月12日までに提出する。
- ・新春のつどい中止のお知らせをホームページにアップし、賛助会員と例年招待している団体、会員宛てには12月13日にお知らせの発送を完了している。
- ・1月の執行理事会は12日、理事会は19日に開催する。19日の理事会前に会誌電子化委託候補3社についてプレゼンテーションを実施する。その際、編集委員にも参加して頂くこととする。
- ・行事予定の確認を12月24日締め切りとし、依頼された。

### (2) 役員候補者選出委員

- ・第4回役員候補者選出委員がおこなわれ、内容報告がなされた。
- ・12月15日現在、理事推薦状が25名分、監事推薦状が2名分提出されている。各委員が候補者へ受託の意志確認を行っている。
- ・今後の会の安定的運営、発展のため、ベテラン理事と新たな理事の交代の時期、バランスを考慮し、現在は理事21名であるが定員の25名まで増員する方向で考えている。
- ・理事の各支部選出のバランスは平等に選出することが望ましいが、規程上は各支部2名以上との文言であり偏ることも有り得る。

## 7) 事務局

- ・11月事務局報告書の確認がなされた。
- ・Web講習等で参加証明書の発行や領収書発行などに使う電子印鑑について現在は管理されておらず、いつ誰が何の目的で誰に使用したのかが会として把握されていないため、その管理ソフトと電子印鑑の購入について提案された。また、電子印鑑を運用する際には印章規定も改定する。

## 8) 表彰選考委員会

- ・12月6日に第6回表彰選考委員会を開催した。
- ・小島三郎記念技術賞および福見秀雄賞については候補者が挙がり、提出書類等の準備を進めている。
- ・都臨技名誉会員及び功労者表彰の受賞者に対し、新春のつどいが中止となり表彰式が実施できないので、受賞のお知らせと記念品の送付準備を進めている。

## 9) 副会長報告

- ・タスク・シフト/シェアに関する厚生労働大臣指定講習会に関し、今後は支部による開催運営となるが、現時点の進捗状況が確認された。1月は各支部の幹事を中心に実務委員育成を目的とし講師と日程調整を行っている。会員に対しては2月から開催予定。
- ・1月の日臨技新春交賀会は中止となった。
- ・LINE登録者数が1200名で伸び止まっているので、今後は学術研修会ごとに広報してほしい。

## 10) 会長報告

- ・日臨技の会長選挙について各会員への投票を促すよう依頼があった。都臨技は宮島現会長を推薦しているという一文を付けて会長から都臨技会員宛てに一括メールを配信する。
- ・タスク・シフト/シェアに関する厚生労働大臣指定講習会に関し、現時点で座学履修済みの会員が291名、履修中の会員が569名となっている。講習会の開催回数や日程を考慮して進めていくよう指示があった。
- ・2022年度の事業計画について担当の指名と内容説明がされた。

## 3. 審議事項

- 1) 電子印鑑について、技師会印と会長印の作成および、管理ソフトの購入に対して審議の結果、承認された。
- 2) 新入会会員24名の入会(再入会4名を含む)が審議の結果、承認された。

以上をもって本理事会の審議を終了したので、議長は閉会を宣言し21時15分に解散した。本日のWeb会議システムを併用した理事会は、終始以上なく審議を終了した。上記の議題及び決議内容を明確にするため、この議事録を作成し議長と監事は次に署名捺印する。

議長  
(原田)

原田典明



監事  
(立花)

立花勇一



監事  
(高橋)

高橋秀治



監事  
(遠藤)

遠藤盛人

